

日本泳法講習会

古式泳法（小池流）を体験してみよう！



2021.8 水泳の日のイベントで披露



〈手 洵〉（ておよぎ）

両手の平を船の櫓（ろ）のように、「∞」を画くように掻く。肩、肘、手先の順に低くし、その場に留まるようにする。



〈立 游〉

平游のカエル足を交互に使う。場所を移動せず、足を自然に交互に踏むようにする。当流は、カエル足の延長が特徴です。



〈鴨〉（かもめ）

立游の応用技。ひざで胸部をかばい、漂流物から身を守る。後方に伸ばした腕で舵を取りながら足だけで進む。

日本泳法（古式泳法）は、現在13の流派があり、本連盟ではその中の「小池流」を伝承しています。スピードを競う競技とは異なり、「美しい技」「耐久力」が特徴で、静の技量を研鑽します。また、年齢・性別を問わず、無理なく楽しめるスポーツとして見直されています。多くの方に体験していただき、日本泳法の普及発展に努めて参りたいと思います。

2023年11月19日（日）

13:00～15:00

*当日は、小池流の師範及び指導者を予定しています

愛知県体育館地下プール

参加料 1500円

参加申し込みの方は、下記の用紙に記入し、FAXでご送信ください。（一社）愛知水泳連盟ホームページにも掲載しています。小学4年生以上、平泳ぎ25m程泳げる方を対象とします

主催：（一社）愛知水泳連盟 日本泳法委員会

問合わせ先：上記 副委員長 神林 俊江 TEL 052-722-8878 （愛知水泳協会内）

キ リ ト リ セ ン

日本泳法委員会宛

FAX 052-852-1674

日本泳法講習会 参加申込書

フリガナ 参加者氏名		年齢	才
		生年月日	年 月 日
連絡先	〒	TEL	
緊急連絡先	(本人以外で)	TEL	

* 初めて日本泳法講習会に参加される方は、（ ）に○を付けてください （ ）